

IFOAM ジャパンセミナー

稲葉 光國 氏

「**生き物**とともに暮らす**幸せ**の国—ブータン王国の有機農業100%への挑戦」



ブータンの農林大臣が2012年に農地の100%を有機農業にすることを宣言してから、様々な試みが行われてきました。殺虫剤は全廃したものの、除草剤ブタクロールの使用量は年々増え、有機農業100%への挑戦が大きな困難に直面しました。除草剤を使わない抑草技術を確立していたNPO法人民間稲作研究所の稲葉氏に抑草技術や安定多収技術の指導依頼があり、ジャイカ筑波のプロジェクトとして3年間の「循環型有機農業の普及による地域創成事業」を進めることになりました。その経過を中心にブータンの有機農業の現状を話していただきます。

場所：中央区立環境情報センター

東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン6階

アクセス：銀座線 京橋駅の3番出口に直結。その他のアクセスについては、<http://tokyo-sg.com/access/>を御覧ください。

日時：2019年8月22日（木）15:30～16:45

費用：無料（定員45名）

聴講ご希望の方は、お名前、連絡先を事務局までご連絡下さい。

E-mail organic@ifoam-japan.net FAX 03-5400-2273

講師紹介 稲葉光國

NPO法人 民間稲作研究所 理事長、かみのかわ有機農業推進協議会 代表、全国有機農業推進協議会 理事
循環型の有機農業をベースに、有機稲作の普及に尽力。教職ののち、1998年に民間稲作研究所を設立。以来、国内を始め、海外の有機稲作の普及に尽力。